



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社フォーサイド 上場取引所 東
 コード番号 2330 URL https://www.forside.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 根津 孝規
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 潔 TEL 03 (6262) 1056
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,669	28.4	200	—	200	—	217	—
2020年12月期第3四半期	2,859	△5.2	△119	—	△68	—	△367	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 214百万円 (-%) 2020年12月期第3四半期 △343百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	6.68	—
2020年12月期第3四半期	△11.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	4,290	1,297	30.1	39.68
2020年12月期	3,841	1,095	28.1	33.16

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,291百万円 2020年12月期 1,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2021年12月期の期末配当は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしていないため未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,860	20.4	210	—	208	—	221	—	6.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	32,557,704株	2020年12月期	32,557,704株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	17,534株	2020年12月期	16,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	32,540,565株	2020年12月期3Q	32,542,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、首都圏に4回目の緊急事態宣言が発出され、東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催される等、社会経済活動が制限される厳しい状況が続いております。一方で、高齢者を中心にワクチン接種が進み、新規感染者数が大幅な減少傾向に転じたことで、2021年9月末を以て緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が全都道府県で解除されております。今後は、行動制限の緩和による社会経済の持ち直しの動きが期待されています。

当社グループの事業領域であるプライズ事業を含むアミューズメント市場におきましては、首都圏や近畿圏を中心に営業時間の短縮を余儀なくされているほか、政府や地方自治体の自粛要請をうけ、アミューズメント施設の利用を控える動きや滞在時間の短縮傾向が消費者に見られる等、依然として厳しい状況が続いております。

住宅市場におきましては、2021年9月の新設住宅着工戸数が前年同月比4.3%の増加となり、前年同月比で7ヶ月連続の増加となりました。また、貸家着工戸数においても、前年同月比で7ヶ月連続の増加となる等、緩やかに持ち直しの動きが見られております。

このような経済状況の中、当社グループにおいては、主力事業であるプライズ事業・不動産関連事業・投資銀行事業の収益基盤の拡大にこわえ、株式会社角川春樹事務所との間で資本業務提携契約を締結し、同社よりティーン向けファッション誌「Popteen」事業を2021年8月1日付で譲り受け、既存出版事業の業容拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は3,669,820千円（前年同期比28.4%増）、営業利益は200,369千円（前年同期は営業損失119,388千円）、経常利益は200,428千円（前年同期は経常損失68,719千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は217,385千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失367,536千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①プライズ事業

プライズ事業につきましては、株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用景品の企画・製作・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、4回目の緊急事態宣言が発出されたことをうけ、8月・9月の販売は当初想定を下回りましたが、ゴールデンウィーク向けの販売が好調に推移したことこわえ、人気キャラクター商品を継続して取り扱えたことにより、売上高、セグメント利益ともに、前年の水準を大幅に上回って推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,148,431千円（前年同期比68.0%増）、セグメント利益は187,874千円（前年同期比252.1%増）となりました。

②不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、民法改正による家賃保証の需要増加が継続しており、新規契約者数は堅調に推移いたしました。また、与信審査及び債権管理業務の強化と業務の効率化にも取り組み、管理回収部門においては、引き続き公的支援制度の案内を行う等、状況に応じた顧客管理に努めたことが業績に寄与し、貸倒引当金繰入額は大幅に減少しております。

以上の結果、売上高は1,033,305千円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は138,343千円（前年同期比292.1%増）となりました。

③投資銀行事業

投資銀行事業につきましては、フォーサイドフィナンシャルサービス株式会社がM&Aのアドバイザー業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、WEB会議の活用等、コロナ禍での新たな営業活動を推進しながら案件を進捗させてきましたが、成約件数は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は71,636千円（前年同期比460.2%増）、セグメント損失は213千円（前年同期はセグメント損失79,349千円）となりました。

④コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、株式会社ポップティーンが電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行っております。なお、フォーサイドメディア株式会社が映像制作事業を行っていましたが、2021年1月31日付けで事業譲

渡が完了し、本事業から撤退しております。

当第3四半期連結累計期間においては、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、ユーザーのニーズを把握し、人気の高い作品を集約する等のサイト運営を行う等、ユーザビリティの向上を目指してまいりました。また、幅広いユーザー層の獲得に向けた広告宣伝等のプロモーション施策を継続して実施いたしました。

以上の結果、売上高は139,496千円（前年同期比58.8%減）、セグメント利益は2,458千円（前年同期はセグメント損失2,522千円）となりました。

なお、映像制作事業を除外して経営成績の前年同期比較を行いますと、売上高は112,053千円（前年同期比11.6%減）、セグメント利益は10,174千円（前年同期比33.0%減）となりました。

⑤イベント事業

イベント事業につきましては、株式会社ブレイクが各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き収容人数を制限した状態でのイベント運営が続いており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

以上の結果、売上高は82,967千円（前年同期比30.0%減）、セグメント損失は19,543千円（前年同期はセグメント損失4,121千円）となりました。

⑥マスターライセンス事業

マスターライセンス事業につきましては、主に株式会社マーベラスアークが音楽関連事業を行い、フォーサイドメディア株式会社及び株式会社ポップティーンが出版事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、音楽関連事業において、ライブハウス等での活動を再開することができましたが、引き続き収容人数を制限した状態での活動を余儀なくされております。出版事業においては、女子小中学生向け雑誌 Cuugal（キューーガル）にくわえ、2021年8月1日付でティーン向けファッション誌「Popteen」事業を譲り受け、出版事業の業容拡大に取り組んでまいりました。誌面製作では、最新のトレンドファッションやライフスタイルを、いち早く読者に届けることで、競合誌との差別化を図ってまいりました。また、デジタルネイティブ世代のプラットフォームであるYoutube等の動画配信チャンネルと連動した企画の充実を図り、「Popteen」ブランドの強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は189,581千円（前年同期比50.6%増）、セグメント損失は18,601千円（前年同期はセグメント損失1,264千円）となりました。

⑦その他の事業

その他の事業につきましては、主にフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社が金融事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、貸付金の回収に努めたほか、コンサルティング案件を受託したことで、売上高、セグメント利益ともに、前年の水準を上回って推移いたしました。

以上の結果、売上高は4,401千円（前年同期比196.2%増）、セグメント利益は2,735千円（前年同期比117.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて449,640千円増加し4,290,977千円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金の増加117,777千円、商品の増加91,594千円及び投資有価証券の増加168,010千円等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて246,933千円増加し2,993,096千円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金の増加185,000千円及び未払金の増加87,538千円等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて202,707千円増加し1,297,880千円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益217,385千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,046,859	1,164,636
受取手形及び売掛金	522,517	545,233
商品	186,967	278,561
短期貸付金	41,071	42,286
収納代行未収金	1,088,805	1,134,698
代位弁済立替金	425,120	446,182
その他	112,700	126,286
貸倒引当金	△347,299	△383,798
流動資産合計	3,076,744	3,354,087
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	123,610	122,293
土地	153,155	153,155
その他(純額)	10,977	9,352
有形固定資産合計	287,743	284,801
無形固定資産		
ソフトウェア	40,683	28,892
のれん	2,592	26,360
その他	18	18
無形固定資産合計	43,294	55,270
投資その他の資産		
投資有価証券	20,759	188,769
長期貸付金	385,047	385,595
敷金	48,041	41,501
長期未収入金	30,500	30,500
その他	14,816	14,481
貸倒引当金	△65,609	△64,030
投資その他の資産合計	433,555	596,817
固定資産合計	764,592	936,890
資産合計	3,841,336	4,290,977
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,325	130,713
未払金	1,090,951	1,178,490
未払法人税等	34,516	12,184
前受収益	431,711	449,607
短期借入金	15,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	50,916	76,025
債務保証損失引当金	99,440	102,150
賞与引当金	—	10,500
その他	252,837	273,542
流動負債合計	2,170,698	2,433,213
固定負債		
長期借入金	566,401	551,704
利息返還損失引当金	7,248	7,679
その他	1,815	500
固定負債合計	575,465	559,883
負債合計	2,746,163	2,993,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,432,534	100,000
資本剰余金	1,973,705	86,206
利益剰余金	△2,326,242	1,111,166
自己株式	△3,529	△3,650
株主資本合計	1,076,467	1,293,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,054	△3,820
為替換算調整勘定	1,550	1,219
その他の包括利益累計額合計	2,605	△2,600
新株予約権	16,100	100
非支配株主持分	—	6,658
純資産合計	1,095,173	1,297,880
負債純資産合計	3,841,336	4,290,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業収益		
売上高	1,875,018	2,617,746
その他の営業収益	984,030	1,052,074
営業収益合計	2,859,048	3,669,820
営業原価		
売上原価	1,353,358	1,943,465
その他の原価	265,779	260,947
営業原価合計	1,619,137	2,204,413
売上総利益	1,239,911	1,465,407
販売費及び一般管理費	1,359,299	1,265,038
営業利益又は営業損失(△)	△119,388	200,369
営業外収益		
受取利息	6,560	6,258
保険解約返戻金	36,501	—
受取保険金	—	3,643
貸倒引当金戻入額	1,192	—
為替差益	—	1,630
その他	10,726	3,238
営業外収益合計	54,980	14,770
営業外費用		
支払利息	1,742	6,579
貸倒引当金繰入額	—	6,383
その他	2,568	1,748
営業外費用合計	4,311	14,711
経常利益又は経常損失(△)	△68,719	200,428
特別利益		
投資有価証券売却益	3,380	—
事業譲渡益	—	15,538
新株予約権戻入益	7,655	16,000
その他	—	4,017
特別利益合計	11,035	35,555
特別損失		
減損損失	208,961	—
貸倒引当金繰入額	40,000	—
投資有価証券評価損	26,880	—
投資有価証券売却損	22,914	—
固定資産売却損	3,873	—
固定資産除却損	—	367
特別損失合計	302,630	367
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△360,314	235,616
法人税、住民税及び事業税	7,222	16,135
法人税等合計	7,222	16,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,536	219,481
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,096
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367,536	217,385

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,536	219,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,063	△4,874
為替換算調整勘定	405	△330
その他の包括利益合計	24,468	△5,205
四半期包括利益	△343,067	214,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△343,067	212,179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,096

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月25日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2021年5月14日に効力が発生しております。これにより資本金1,332,534千円、資本準備金1,328,740千円をその他資本剰余金に振り替えた上で、その他資本剰余金3,220,023千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が86,206千円、利益剰余金が1,111,166千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライツ
売上高						
外部顧客への売上高	1,278,574	983,473	12,787	338,288	118,562	125,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,278,574	983,473	12,787	338,288	118,562	125,876
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	53,355	35,281	△79,349	△2,522	△4,121	△1,264

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,485	2,859,048	—	2,859,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,485	2,859,048	—	2,859,048
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,260	2,639	△122,027	△119,388

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△122,027千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライセンス
売上高						
外部顧客への売上高	2,148,431	1,033,305	71,636	139,496	82,967	189,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	300	—	—
計	2,148,431	1,033,305	71,636	139,796	82,967	189,581
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	187,874	138,343	△213	2,458	△19,543	△18,601

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	4,401	3,669,820	—	3,669,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	300	△300	—
計	4,401	3,670,120	△300	3,669,820
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	2,735	293,053	△92,684	200,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△92,684千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マスターライセンス」事業において、当第3四半期連結会計期間に、株式会社ホールワールドメディア株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は5,252千円であります。

「マスターライセンス」事業において、当第3四半期連結会計期間に、株式会社角川春樹事務所からの事業譲受により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は20,000千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。